

取材可能案件**大阪府立大学・大阪市立大学共催
子ども・若者への支援に関する公開講座**

大阪府立大学教育福祉研究センターと大阪市立大学大学院都市経営研究科が共催で公開講座を実施します。

第一部では、大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野 則子教授らの研究グループによる、コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究(2020年度厚生労働科学研究特別研究)から、子どもの実態は、想像以上に非常に高いストレス状態であることが明らかになったことを受け、共同研究者である精神科医とともに調査結果をさらに深く検討します。また厚生労働省からも今後、どのような政策を方向づけられているのかを発信します。

第二部では、社会人大学院である大阪市立大学大学院都市経営研究科の修士課程修了生・博士課程在籍生が「近年の社会福祉法改正により新設された重層的支援体制をどうつくるか」というテーマでお話します。現場の第一線で活躍しながらその知見をもとに進めている研究をふまえ、それぞれの持ち場である子ども食堂、子育て世代包括支援、キャリア教育について、福祉・教育・労働・保育といった分野を横断した支援体制をどう構築するか、現状と課題をディスカッションします。

ぜひご取材をご検討いただきますようお願いいたします。

記

【日 時】 2021年11月29日(月) 第一部：16:15～18:20
第二部：18:30～20:30

【形 式】 オンライン (zoom)

【概 要】 (第一部) 大阪府立大学教育福祉研究センター公開講座

テーマ：コロナ禍における子ども、家庭、学校

—2020年度の調査結果から得た知見をどう活かすか

山野 則子 (大阪府立大学教授、SSW 評価支援研究所所長)

亀岡 智美 (兵庫県こころのケアセンター副センター長兼研究部長)

小澤 時男 (厚生労働省子ども家庭局総務課長)

<https://www.osakafu-u.ac.jp/event/evt20211129/>

(第二部) 大阪市立大学大学院都市経営研究科公開シンポジウム

テーマ：子ども・若者支援と重層的支援体制のあり方

塩川 悠 (修士課程修了生、社会福祉士)

松本 学 (修士課程修了生、NPO 法人ブレインヒューマニティー代表)

河村 信子 (博士後期課程在籍、保育士・公認心理師)

コメンテーター：山野 則子

司会：五石敬路 (大阪市立大学大学院都市経営研究科准教授)

<https://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>

【一部お申込み・お問い合わせ先】

E-mail: kouza2109@ao.osakafu-u.ac.jp

申し込み締切日：11月22日（月）9:00

氏名、ご所属、メールアドレスをご送信ください。

お申込者に、事務局より zoom 招待を送信します。

【二部お申込み・お問い合わせ先】

オンライン参加：シンポジウムのタイトル、氏名、ご所属をご記入のうえ goishi@osaka-cu.ac.jp まで
お申し込みください。開催日が近づきましたら、zoom のリンクをお知らせします。

会 場 参 加：都市経営研究科のホームページ (<https://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>) にある
「公開シンポジウム申込アドレス」をクリックし、必要事項を記入のうえ、
「都市行政④」をチェックしてください。

会場は、**大阪駅前第2ビル6F 文化交流センターホール**です。

詳細は (<https://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>) をご参照ください。